

2015年9月の山西省

今回が初めてのレポートになります。まずは今回、山西大学にて埼玉県親善大使として留学の機会を与えてくださいました埼玉県、また多岐にわたりサポートしていただいている難波さんをはじめとする埼玉県庁国際課の関係者の方々に感謝を申し上げます。ありがとうございます。また普段からお世話になっている家族のみんなに感謝の気持ちを伝えたいです。「いつもありがとう。」

8月26日に成田空港で家族に見送られて、大連経由太原行の飛行機に乗りました。大連で乗り継ぎの際3時間ほどの遅れがありましたが無事に着き、山西大学の国際課の職員の王さんの車に乗り、山西大学に到着することができました。

今回中国には二回目の留学となります。2年前に中国の南方の大学で一年間の交換留学をしました。その時は上海で乗り継ぎましたが、その際も数時間の遅れがありました。そのため、今回も乗り継ぎの際遅れがあるかなと予測していたところでの遅延でしたので、あまり慌てることなく過ごすことができました。

私自身、山西省の留学プログラムで今年9月から留学をすることが決まってから、以前の留学生のレポートをすべて見させていただきました。その中で、留学にあたっての準備や山西大学にきてから行いたい事を考えるにあたり、たくさん参考になることがありました。もしかしたら、来年の留学生も私のレポートを見るかもしれません。そういった意味でも、自分の目で見たいなるべく有益な情報を伝えられるようにしていきたいです。ですが私の情報は2015年9月現在の情報ですので多少の変化はあると思います。

また山西大学での生活の中で、やはり埼玉県との関係が深いなあと感じる場面が多くあります。現地で病院に行った際、日本語が話せる看護師の方と話していたら、以前埼玉県立大学に留学経験があることがわかりました。また以前留学していた南方の大学では、日本語を勉強している学生に埼玉県から来たと言っても、どこかわからないと答える方が多かったです。山西大学の日本語学科の学生に言うと埼玉県のことを知っているかと答える方が非常に多くいました。留学の醍醐味は現地の人との交流だと思っています。

交流を通じて山西省の良さを知り、埼玉県の良さを伝えていけたらと思います。

大久保 豪



山西大学图书馆



山西大学留学生寮